

令和 7 年度「韓哲・まちづくり夢基金」 運用益等活用事業中間報告

令和7年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業一覧

No	事業名	分野	担当部署	予算額 (基金充当予定額)	執行予定額 (基金充当予定額)
1	グローバル人材育成事業	教育	教育委員会 学校教育課	38,236千円 (25,879千円)	38,236千円 (25,879千円)
2	プログラミング教育推進事業	教育	教育委員会 学校教育課	2,024千円 (1,076千円)	1,581千円 (1,021千円)
3	いじめ・不登校防止対策等総合推進事業	教育	教育委員会 学校教育課	6,815千円 (6,202千円)	6,579千円 (5,966千円)
4	大阪・関西万博体験事業	教育	教育委員会 学校教育課	10,439千円 (10,439千円)	9,994千円 (9,994千円)
5	韓哲・まちづくり夢基金事業補助金	その他	市長公室 政策企画課	18,000千円 (18,000千円)	9,760千円 (9,760千円)
6	SDGs推進事業	教育	市長公室 政策企画課	550千円 (550千円)	550千円 (550千円)

令和7年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業一覧

No	事業名	分野	担当部署	予算額 (基金充当予定額)	執行予定額 (基金充当予定額)
7	高等学校全国募集入学生応援事業	教育	教育委員会 教育総務課	2,700千円 (2,700千円)	2,340千円 (2,340千円)
8	大学等受験料支援事業	教育	教育委員会 教育総務課	1,325千円 (1,325千円)	1,325千円 (1,325千円)
9	第5回京丹後市民陸上記録会	スポーツ	教育委員会 生涯学習課	300千円 (238千円)	300千円 (238千円)
10	国際大会・全国大会出場者への激励金	スポーツ 文化	教育委員会 生涯学習課	800千円 (800千円)	800千円 (800千円)
11	京丹後市文化芸術振興計画及び 文化庁移転に伴う文化芸術推進事業	文化	教育委員会 生涯学習課	2,521千円 (1,361千円)	2,419千円 (1,310千円)
12	地域公民館管理運営事業	社会教育	教育委員会 生涯学習課	2,778千円 (491千円)	2,024千円 (164千円)
13	図書館管理運営事業	図書館	教育委員会 生涯学習課	27,898千円 (13,949千円)	15,817千円 (7,908千円)
14	社会体育団体育成事業	スポーツ	教育委員会 生涯学習課	3,402千円 (3,402千円)	3,402千円 (3,402千円)

令和7年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業一覧

No	事業名	分野	担当部署	予算額 (基金充当予定額)	執行予定額 (基金充当予定額)
15	青少年教育事業	社会教育	教育委員会 生涯学習課	1,219千円 (1,219千円)	1,137千円 (1,137千円)
			合計	119,007千円 <u>(87,631千円)</u>	96,264千円 <u>(71,794千円)</u>

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	執行予定額 (基金充当予定額)	38,236千円 (25,879千円)
目的	国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、児童生徒を対象に諸外国への興味関心を深め文化や伝統を理解する機会を創設し外国語教育の充実を図るとともに、産学連携のもと新たな可能性を創造するSTEAM教育の推進を図る。				
事業概要・主な経費	<p>○Kyotango English Day【対象：小学3・4年生】17千円 10月4日（土）参加人数：17人 言語活動を中心としたCIR・ALTとの英語による交流会（施設使用料）</p> <p>○Kyotango English Camp【対象：小学5・6年生】358千円（294千円） 10月4日（土）・5日（日）1泊2日 参加人数：20人 言語活動を中心としたCIR・ALTとの交流会（通信運搬費、施設使用料）</p> <p>○オンライン留学【対象：中学1年生・高校生】6千円 10月7日（火）～12月9日（火）参加人数：中学生20人/高校生10人 フィリピンの学生とのオンライン交流を開催。 各家庭での交流に加え、全体研修（開閉会式含む）を8回実施。（通信運搬費）</p> <p>○中学生の海外派遣【対象：中学2年生】12,716千円（6,280千円） 海外へ派遣し、一般家庭での生活体験や、現地の学校での学校生活を体験 期間：3月14日（土）～22日（日）9日間 派遣先：オーストラリア パース 参加人数：20人 ※渡航費用の3/4を補助金交付（旅費、補助金等）</p> <p>○英語力向上支援ソフト【対象：全中学生、小学5・6年生】20,905千円（17,165千円） 1人1台端末においてAIによる英語力向上支援ソフトの活用 全中学生は引き続きの活用、小学5・6年生は令和7年度から導入 英語の「聞く」「話す」力を伸ばすとともに英語でのやりとりに自信をもてる生徒を育成 (ライセンス使用料等)</p> <p>○「Kyotango Sea Labo」開催【対象：中学3年生、高校2年生】4,234千円（2,117千円） 本市の産業等の特色を活かしつつ、丹後学、デザイン思考、STEAM教育の要素を融合させたプログラム（ワークショップ）を専門機関と連携し実施 機関：8月4日（月）～8月8日（金）参加人数：35人（報償金、旅費、委託料等）</p>				<p>活動のようす -The Development of Global Leaders in Kyotango -</p> <p>Kyotango Sea Labo</p>  <p>海外派遣</p> <p>Kyotango English Camp</p>  <p>成果・課題</p> <p>それぞれの発達段階に応じたプログラムの提供を実施し、語学の習得だけではなくコミュニケーション能力の向上や異文化理解に繋げることができた。</p> <p>また、参加者が限定されるプログラムだけでなく、市内全中学1～3年生を対象としたアプリの活用を通し、個別最適な指導及び生徒たちの学びへの意欲向上に資することができた。</p>

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	執行予定額 (基金充当予定額)	1,581千円 (1,021千円)	
目的	中学校技術科の授業について、高度な専門性を有した専門人材に遠隔地から実施していただき、またプログラミング教材の導入により、より充実した学びを児童生徒に届けることを目的とする。					
事業概要・主な経費	<p>○遠隔教育 420千円 (充・210千円)</p> <p>技術科の専科教員が配置されていない中学校(2校)において、遠隔地から専門性の高い講師による授業を実施することで、より充実した学びを児童生徒に届ける。</p> <p>技術科の授業において、解決できる問題を見つけ、その問題を解決するための情報収集を行ったり、具体的システムのプログラムを制作することで、これからの時代に必要な探究的な学びを身に付ける。</p> <p>報酬(講師1名) 320千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期: 令和7年4月～令和8年2月 ・技術科「計測・制御のプログラミングによる問題解決」等 18時間 <p>費用弁償(講師1名) 100千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より効果的な授業を実施するための対面授業に係る交通費等 ・時期: 令和8年2月5日 				<p>○遠隔教育</p>  <p style="text-align: center;">授業の様子</p>	<p>○プログラミング教材導入</p>  <p>Mom's Bakeryについて</p> <p>12月1日に予定していたお菓子作り体験イベントですが、3月30日の授業の中で初めて実施を行いました。お菓子作り体験の楽しさを伝えるため、Mom's BakeryのHPを作りました。HPには授業で学んだお菓子作りレシピや、お菓子作り体験の様子の写真や動画を掲載しています。ぜひご覧ください。</p> <p>お菓子作りパン</p>  <p style="text-align: center;">生徒の作成したHP</p>
	<p>成果・課題</p>	<p>○遠隔教育</p> <p>技術科の教員が配置されていない中学校において、遠隔教育を実施することで、より充実した学びを児童生徒に届けることができた。</p> <p>複数校同時実施のため、より綿密な連絡体制が必要。</p> <p>○プログラミング教材導入</p> <p>個人の進捗状況に応じたプログラミング学習だけでなく、生徒同士が助け合いながら学ぶ姿が見受けられ、個別最適で協働的な学びに資することができた。</p>				

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	執行予定額 (基金充当予定額)	6,579千円 (5,966千円)
目的	近年増加している児童生徒の不登校やいじめの防止対策のひとつとして1人1台端末の匿名相談アプリにて悩み相談に応じるもの				
事業概要・主な経費	<p>○匿名相談アプリ「STANDBY」の導入 市内小中学校の全児童生徒3,351名（小学校1年生のみ令和8年1月より使用開始）にアプリを導入し、相談できる環境を整えた。 匿名相談アプリ使用料 1,028千円</p> <p>○SOSの出し方教室に係る出張授業の実施 いじめに限らず、不登校をはじめ、学校や家庭でのさまざまなストレスや、不安などを一人で抱え込むことなく、大人や周りの友達に相談することの重要性を授業の中で体験してもらった。 令和7年7月1日～3日および10月20日の4日間に実施 講師への費用弁償費 161千円</p> <p>○匿名相談について外部専門機関への委託 平日の16時～21時に寄せられる匿名相談対応について、外部の専門のカウンセリングセンターへ業務を委託した。 令和7年4月1日～令和7年12月31日までに、のべ873件の相談が寄せられた（うち、いじめの相談119件）。 相談種別に集計したところ、「友人関係」、「いじめ」、「教員との関係」の順番で相談が多いことがわかった。 いじめをはじめ、気分の落ち込みなど深刻な相談については、連絡を受けた教育委員会と学校とが連携する中で対応を行うケースもあった。 ほとんどの児童生徒から、「相談できて良かった」「解決できた」「また相談したい」との肯定的な評価を受けることができた。 外部専門機関への委託料 5,390千円</p>				<p>成果・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全児童のうち、25%の利用と比較的に多くの児童生徒からの利用があった。 ・いじめの相談について、匿名相談の中のやり取りで解決を導くことができるなど、問題が深刻になるのを予防する効果が見られた。 ・クラスの落ち着かない様子が相談の中から知ることができ、早期の対応につながる事ができた。 ・相談件数について学校間での差があるため、児童生徒に対して利用についての周知をさらに進める必要がある。

分野	教育	担当部署	京丹後市教育委員会 学校教育課	執行予定額 (基金充当予定額)	9,994千円 (9,994千円)
----	----	------	--------------------	--------------------	----------------------

目的

本市では、未来を担う子どもたちが「地域を起点に世界ともつながりながら、課題を解決する力」を身に付けられるよう、グローバル人材の育成に取り組んでおり、社会見学の一環として世界各地の文化や芸術等が展示されている大阪・関西万博に参加することで、児童・生徒の国際理解を深める機会とする。

事業概要・主な経費

市内各小学校5年生、各中学校1年生、2年生が、社会見学で万博を訪問するための旅行企画委託料等を計上する。

○校外学習（学校手配）

- ・小学5年生 2,611千円
バス代 2,257千円
有料道路通行料 228千円
駐車場使用料 126千円
- ・教職員下見 242千円
バス代 206千円
有料道路使用料 11千円
駐車場使用料 25千円

○旅行企画委託料（万博）

- ・小学校5年生 1,172千円
- ・中学校1年生、2年生 5,909千円

○出前講座

- ・講師謝金 60千円
(峰山、いさなご、長岡、大宮南、高龍、かぶと山小)

※万博エジプト館とも交流のあるフセイン氏を京丹後市国際協力アンバサダーとして認定し、市内小中学校の万博訪問の際に、エジプト館含む中東4ヶ国のパビリオンへ招待いただいております、学校からの希望により事前学習として、出前講座を実施した。

学校	訪問日	学年	訪問児童 生徒数
峰山小学校	9月29日	5年	15人
いさなご小学校	9月30日	5年	38人
しんざん小学校	10月9日	5年	33人
長岡小学校	10月3日	5年	10人
大宮第一小学校	9月12日	5年	82人
大宮南小学校	9月22日	5年	12人
網野北小学校	7月4日	5年	27人
網野南小学校	9月4日	5年	24人
島津小学校	9月12日	5年	11人
橘小学校	9月17日	5年	15人
丹後小学校	10月3日	5年	25人
宇川小学校	10月3日	5年	7人
弥栄小学校	9月26日	5年	32人
久美浜小学校	6月20日	5年	19人
高龍小学校	9月22日	5年	18人
かぶと山小学校	9月26日	5年	24人
峰山中学校	9月17日	1年	85人
		2年	86人
大宮中学校	9月24日	1年	83人
		2年	69人
網野中学校	10月7日	1年	72人
		2年	84人
丹後中学校	10月6日	1年	19人
		2年	27人
弥栄中学校	9月22日	1年	39人
		2年	27人
久美浜中学校	9月16日	1年	73人
		2年	73人
合計			1,129人



成果・課題

市内全小学5年生と中学1・2年生が万博を訪問し、世界の最先端技術や文化を体感した。特に京丹後市国際アンバサダーの支援により、エジプト等4か国のパビリオンを重点的に見学できたことは、多文化理解の面で極めて有意義であった。また、事前に行われた出前講座が現地での学びを深化させる一助となった。一連の活動を通じ、次代を担う児童生徒の国際感覚の醸成と、知的好奇心の向上という大きな成果を得た。

分野	その他	担当部署	市長公室 政策企画課	執行予定額 (基金充当予定額)	9,760千円 (9,760千円)
目的	韓哲・まちづくり夢基金を活用し、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりに繋がる人材育成、顕彰等を行う者に対して、企画公募型の補助金を交付して支援し、市民等の夢の実現を後押しする。				
事業概要・主な経費	4月から5月にかけて企画を公募。応募があった以下の13企画について採択し交付決定した。				
	No	事業名	提案者	補助金 交付決定額	補助金 交付確定額
	①	タンゴロック・アンド・ロール・ミュージック	山田 勝	950千円	未確定
	②	桂塩鯛師匠の落語を聞く会	桂塩鯛師匠の落語を聞く会	200千円	200千円
	③	サッカーを通して日本文化を伝えよう、国際文化を体験しよう！	KYOTO TANGO QUEENS	1,000千円	未確定
	④	タカシマFEELキャンプ	株式会社タカシマプラス	237千円	207千円
	⑤	地域の知を未来へ：ウィキペディアを使った京丹後の教育文化振興	edit Tango	1,000千円	未確定
	⑥	丹後に「能」を広げる文化・芸術・教育振興プロジェクト	丹の国丹能会	1,000千円	未確定
	⑦	親子で楽しむコンサート	クライネビューネ	258千円	255千円
	⑧	神楽「篠笛づくり」と「アーカイブ化」により「祭り」を次世代につなぐ取り組み	井辺大神楽保存会	480千円	448千円
	⑨	ローカル見本市「SLOW」	SLOW実行委員会	1,000千円	未確定
⑩	丹後から能楽師プロジェクト2025～イチから教わる能楽～	たんたんのうの会	1,000千円	未確定	



韓さんのご子息・哲さんのゆめが刻まれた石碑(峰山総合公園内)

成果・課題

補助金を交付することにより、教育、文化芸術の振興、地域経済の活性化に寄与するとともに、市民の夢の実現を後押しすることができた。

分野	その他	担当部署	市長公室 政策企画課	執行予定額 (基金充当予定額)	9,760千円 (9,760千円)
----	-----	------	---------------	--------------------	----------------------

目的 韓哲・まちづくり夢基金を活用し、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりに繋がる人材育成、顕彰等を行う者に対して、企画公募型の補助金を交付して支援し、市民等の夢の実現を後押しする。

事業概要・主な経費

No	事業名	提案者	補助金 交付決定額	補助金 交付確定額
⑪	ウィーン夏期国際音楽ゼミナール 参加	永岡 亜紀子	1,000千円	1,000千円
⑫	丹後の未来を担う子どもたちを育てるお母さんの居場所と学び事業	ゆるりら	1,000千円	未確定
⑬	丹後活性化プロジェクト	京都府立丹後緑風 高等学校	700千円	未確定



韓さんのご子息・哲さんのゆめが刻まれた石碑
(峰山総合公園内)

成果・課題

補助金を交付することにより、教育、文化芸術の振興、地域経済の活性化に寄与するとともに、市民の夢の実現を後押しすることができた。

① タンゴロック・アンド・ロール・ミュージック

未完了

- 目的：丹後に生まれ周りの環境で一番触れにくい音楽の文化をもっと取り入れたい。
- 内容：プロアーティストによる音楽講演会・地元学生と地元出身アーティストによるライブ。

② 桂塩鯛師匠の落語を聞く会

完了

- 目的：「落語」に焦点をあて、落語の楽しさ、落語家の技量に触れていただく機会を提供したい。
- 内容：桂塩鯛師匠による落語会と地元のマジシャンによるマジックショーを開催した。



③ サッカーを通して日本文化を伝えよう、国際文化を体験しよう！

未完了

- 目的：参加者が世界で活躍できるような人材育成を目指す。異文化理解を深める。
- 内容：現地サッカーチームと練習、サッカー教室の実施。現地学校での交流。

④ タカシマFEELキャンプ

完了

- 目的：京丹後市の砂浜が安心して遊べるようになり、そのきれいな砂浜を後世に残せるようにしたい。
- 内容：ミニライブ、ビーチクリーン、ゴミ問題に関するワークショップ等を実施するイベントを開催した。



No2 韓哲・まちづくり夢基金事業補助金 参考資料 【事業概要と主な実績】

⑤ 地域の知を未来へ：ウィキペディアを使った京丹後の教育文化振興

未完了

- 目的：地域振興の下支え、市民の社会参画への意識や情報活力能力の向上、若年層への教育効果
- 内容：ウィキペディアタウン4回の開催、他イベントへのブース出展。

⑥ 丹後に「能」を広げる文化・芸術・教育振興プロジェクト

未完了

- 目的：若い世代から高齢者まで「能」の楽しさ、凄さ、奥深さを体感してもらい、「能」への興味や理解を深めてもらう。
- 内容：能楽師を招いたワークショップの開催。小中高校でのワークショップの開催。

⑦ 親子で楽しむコンサート

完了

- 目的：音楽を通じた体験型の文化活動により、教育、文化、芸術、まちづくりに資する人材の育成。
- 内容：歌とピアノ、バランスボールを用いたコンサートの開催した。自由に弾けるグランドピアノの解放



⑧ 神楽「篠笛づくり」と「アーカイブ化」により「祭り」を次世代につなぐ取り組み

完了

- 目的：伝統行事を継承し、次世代に引き継ぎ、地域の活性化につなげる。
- 内容：古式篠笛の製作出前講座の開催（撮影）した。笛の楽譜づくり、完成発表会の実施した。



No2 韓哲・まちづくり夢基金事業補助金 参考資料 【事業概要と主な実績】

⑨ ローカル見本市「SLOW」

未完了

- 目的：地域内外の人に京丹後のつくり手文化を伝え、新たなアイデアを育み、プロジェクトや事業につなげていく。
- 内容：1 2 日間の地域やつくり手と出会う見本市の開催した。

⑩ 丹後から能楽師プロジェクト2025～イチから教わる能楽～

未完了

- 目的：プロの能楽師による指導を繰り返し受けることで、本気で能楽師を目指す人材を丹後から輩出したい。
- 内容：観世喜正氏を招いた稽古の実施。市内小学校への出前授業。

⑪ ウィーン夏期国際音楽ゼミナール 参加

完了

- 目的：世界トップクラスの演奏家や教授の指導を受ける機会をいただき、音楽の知識や演奏力を高めたい。
- 内容：ウィーン夏期国際音楽ゼミナールへの参加、アーノルド教授とのレッスンに参加した。



⑫ 丹後の未来を担う子どもたちを育てるお母さんの居場所と学び事業

未完了

- 目的：お母さんが学ぶ姿勢・子育ての不安ができた時に地域の先輩とつながる大切さなど、学びの基本を伝えたい。
- 内容：産後1年未満のお母さんを対象にした産後ケアにおける学びの提供（ゆるりHOME、ゆるりイベントの開催）

⑬ 丹後活性化プロジェクト

未完了

- 目的：生徒の地域理解、地元への愛着を育むとともに、学習効果の充実を図りたい。
- 内容：「緑風祭」に係る周知。「丹後活性化プレゼンテーション大会」の開催。

分野	教育	担当部署	市長公室 政策企画課	執行予定額 (基金充当予定額)	550千円 (550千円)
目的	令和3年度に一般社団法人Sustainable Gameとの間で締結した包括連携協定に基づき、SDGsの達成及び将来世代のニーズを反映させた持続可能な社会・経済の実現に資することを目的として、中学校、高等学校等におけるESD（持続可能な開発のための教育）の推進支援や社会問題に関心のある将来世代を本市へ呼び込む企画など、「若者活躍の聖地」を目指した取組を推進する。				
事業概要・主な経費	<p>○事業概要</p> <p>市外中高生との交流プログラム SDGsに関心のある市外の中高生と市内中高生の交流プログラム。活動事例の発表、ワークショップ等。</p> <p>○主な経費 コーディネート業務委託料 550千円</p> <p>※一般社団法人Sustainable Gameとは 2020年に高校生により設立され、全国の現役中高生で構成される法人。SDGsの普及や未成年の社会参画の促進を目的としたイベントやコミュニティ運営などの事業を展開し、これまで大企業等40社以上の企業と連携・協業されています。</p>				
		成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 2月 市外中高生との交流プログラム 		

分野	教育ほか	担当部署	教育委員会事務局 教育総務課	執行予定額 (基金充当予定額)	2,340千円 (2,340千円)
目的	<p>京都府立丹後緑風高等学校（網野学舎）で全国部活動特別入学選抜が実施された。このため、京都府外の遠方から入学する生徒の下宿等（下宿、寮及びアパート等）に係る経済的負担を軽減するため、当該経費の一部を支援することで生徒の就学支援をはじめ、地域で培われたスポーツ風土を生かした部活動を応援することで人材の育成及び市内の高等学校の存続発展と地域の活性化に資することを目的とする。</p>				
事業概要・主な経費	<p>【支援内容】 下宿等の賃料（共益費、食費、光熱水費、生活雑費、修繕その他の居住の維持に関する経費を除く。）を補助対象経費とし、2分の1以内の額とする。ただし、月額2万円を限度とする。 また、交付は年3回、4箇月ごと（4月から7月分、8月から11月分、12月から翌年3月分）とし、期間は、高等学校の正規の修業年限である入学後3年以内とする。</p> <p>【対象者の要件】 (1) 京都府外の都道府県からの入学生徒の保護者に支援する。 (2) 入学後、生徒は京丹後市の住民基本台帳に登録され、現に居住し、就学すること。 (3) 入学後、生徒は指定された部活動（レスリング部）に加入すること。 また、申請時には、学校長の証明を添えること。 (4) 令和7年度の募集人員は、6人以内とする。</p>				
<p>【対象者の状況】 令和5年度入学生 4人 令和6年度入学生 1人 令和7年度入学生 6人 計11人</p> <p>【支援の内容（見込み）】 下宿等の賃貸料 (月額3万円×1/2) ×12月×5人 (月額4万円×1/2) ×12月×6人</p>			成果・課題	<p>全国募集入学生として、府外（関東、中部地方）から11人が在学しており、令和7年度（R7.12時点）は、全国大会、世界大会ともに優勝実績があり、全国・世界で活躍している。 また、週2回、網野学舎において小中学生のレスリング・ジュニアチームを補助員として指導しており、地域貢献にも寄与している。</p>	

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 教育総務課	執行予定額 (基金充当予定額)	1,325千円 (1,325千円)	
目的	令和6年8月頃から事業を実施開始。低所得子育て世帯（住民税非課税世帯）のこどもの学習機会を確保するため、受験料の補助を行うことで、大学等進学に向けた支援を行うことを目的とする。					
事業概要・主な経費	<p>【支援内容】 学校教育法に規定する大学、短期大学、専門職大学、専修学校(専門課程又は一般課程に限る。)、各種学校(同報第1条、第124条、第134条)を受検する方の保護者を対象に受験料(大学等を受験する際に必要な費用(受験料))を一人53,000円を上限に補助する。</p> <p>【対象の要件】 申請年度の末日において20歳未満の受験生の保護者等で、下記①～④のいずれにも該当すること</p> <p>①受験生及び保護者等が同一の世帯に属していること ②申請年度において、世帯を構成する者のいずれもが住民税非課税である世帯であること ③世帯を構成する者のいずれもが本市に納入すべき市税等を滞納していないこと ④申請日において1年以上継続して京丹後市の住民基本台帳に記録されていること</p> <p>【対象者の状況】 令和7年度認定者：3名(1名非該当は含まない) ※R7.12.31時点</p> <p>【支援の内容の見込み】 大学等受験料 53,000円×25人</p>			成果・課題	<p>令和7年7月頃 募集開始 市内高校3校への広報、HPや広報京丹後等での広報</p> <p>令和7年12月頃 再度上記方法等で広報</p> <p>令和8年3月末 募集終了 (※8月～3月末まで随時募集)</p>	

分野	スポーツ	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	執行予定額 (基金充当予定額)	300千円 (238千円)
目的	スポーツの基礎となる陸上競技の機会の提供、また、市民のスポーツ実施率向上、健康づくり及び体力づくりの向上、市のスポーツ振興に寄与することを目的とする。				
事業概要・主な経費	<p>○主催 京丹後市・京丹後市教育委員会</p> <p>○共催 一般社団法人京丹後市スポーツ協会</p> <p>○主管 北丹陸上競技協会</p> <p>○日程 令和7年7月6日(日)</p> <p>○会場 峰山途中ヶ丘公園 京丹後はごろも陸上競技場</p> <p>○参加資格 小学生以上で京丹後市に住所がある者、又は在学・在勤であること。</p> <p>(1) 公認競技の部に参加する者は、2025年度において日本陸上競技連盟、学生陸上競技連盟、高等学校体育連盟、中学校体育連盟のいずれかに登録している者であること。</p> <p>(2) 車いす競技の部に限り、住所が京丹後市以外であっても出場することができる。</p> <p>(3) 車いす競技は、健常者であっても出場することができる。</p> <p>○種目</p> <p>(1) 一般競技の部(9種目・男女別) 60m、100m、800m、1500m、3000m 4×100mR、混合4×100mR、走幅跳、ジャベリックボール投 ※砲丸投、やり投：申し込みが無く、実施なし</p> <p>(2) 公認競技の部(8種目・男女別) 100m、800m、1500m、3000m 4×100mR、走幅跳、砲丸投、やり投</p> <p>(3) 車いす競技の部(1種目・男女別) 1500m ※60m、100m、混合4×100mR：申し込みが無く、実施なし</p> <p>○エントリー数 134名</p> <p>○参加料 中学生以下：無料 高校生以上：500円</p> <p>○歳入 参加料：16,500円(500円×33人)</p> <p>○歳出 委託料：299,950円</p>				
				成果・課題	<p>134人のエントリーがあり、一般競技の部は9種目、後任競技の部は8種目、車いす競技の部は1種目を実施した。エントリー数は、昨年度の110名から24名増加した。</p> <p>市民の健康・体力づくりのきっかけづくりとして市のスポーツ振興に寄与することができた。</p> <p>さらに広報等に周知活動を行い、参加者増加を図り、市民のスポーツ実施率の向上のきっかけとなるよう努める。</p>

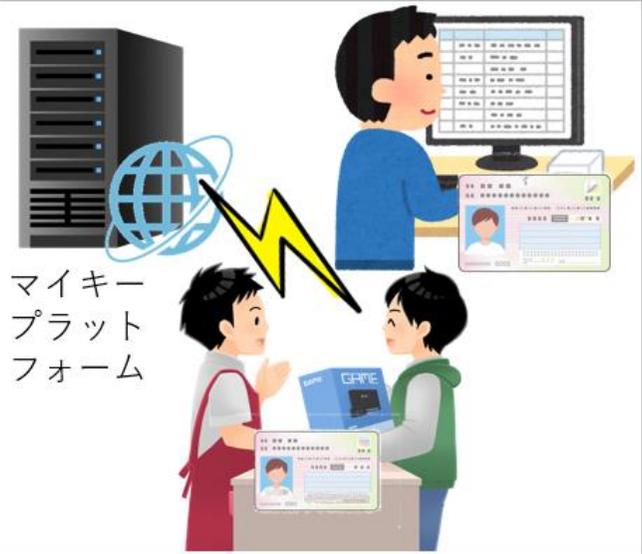
分野	スポーツ 文化	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	執行予定額 (基金充当予定額)	800千円 (800千円)
目的	各種の文化・スポーツにおいて、国際大会及び全国大会へ出場する児童・生徒に激励金を交付することにより、功績を称えるとともに、ジュニアアスリートの競技力向上や広報誌等による情報発信によって競技人口の拡大及び市のスポーツ振興を図ることを目的とする。				
事業概要・主な経費	<p>○対象者 市内に住所を有している小中学校及び高校の児童・生徒</p> <p>○対象となる大会 【スポーツ激励金】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.全国高等学校総合体育大会・全国高等学校定時制通信制体育大会 2.文部科学省、(公財)日本スポーツ協会または加盟競技団体等が主催、所管、後援する全国大会 3.文部科学省等、(公財)日本オリンピック委員会が派遣する国内・外で開催される国際大会 等 <p>【文化活動激励金】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.文部科学省、文化庁等国の行政機関が主催又は共催する全国大会 2.国が所管する公益法人が主催又は共催する全国大会 等 <p>※予選会又は選考会を経ずに出場できる大会を除く</p>			 <p>世界大会・全国大会出場激励会(7/17)</p>	
	<p>○激励金額</p> <p>国際大会 1人につき30,000円</p> <p>全国大会 1人につき10,000円 (団体競技は1団体上限30,000円)</p> <p>○令和7年度実績 (令和8年1月21日現在)</p> <p>国際大会 7人、全国大会56人、計650,000円</p> <p>○過年度実績</p> <p>令和6年度 国際大会10人、全国大会43人、計710,000円</p> <p>令和5年度 国際大会 9人、全国大会64人、計870,000円</p> <p>令和4年度 国際大会 4人、全国大会52人、計610,000円</p>	<p>成果・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際大会及び全国大会に出場する児童や生徒を対象に激励会を開催した。 ・激励会や広報誌等を通じて、功績を称えるとともに、情報発信を行い、市のスポーツ振興に寄与した。 			

No11 京丹後市文化芸術振興計画及び文化庁移転に伴う文化芸術推進事業

中間報告様式

分野	文化	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	執行予定額 (基金充当予定額)	2,419千円 (1,310千円)
目的	<p>本市文化芸術振興条例に基づき策定した「京丹後市文化芸術振興計画」では、『文化芸術を楽しむ 人が輝く京丹後～はぐくむ、つなぐ、いかす』日本のふるさと丹後”の文化を次世代へ〜』を理念とし、本市の豊かな文化的資源を継承・活用して、市民が文化芸術に親しみ、愛着や誇りを感じられる文化芸術のまちづくりを進めます。</p> <p>この理念を実現するために定めた6つの基本方針に沿って、文化芸術活動機会の確保や文化的資源の継承、文化芸術関連団体の振興や人材育成、情報発信などの事業に取り組み、まち全体で文化芸術を楽しむ気運の醸成につなげます。</p>				
事業概要・主な経費	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>1「京丹後アートフェスティバル2025」の開催</p> <p>市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供するため、一定期間をフェスティバルとしており、2025は9/6～12/21の107日間、開催した。丹後の主要な地域資源である「古墳」をモチーフにしたプログラムや広報物は大変好評であった。</p> <p>「みるプログラム（鑑賞）」では、市民の能動性を引き出す仕掛けとしてARTMAPを制作。今年度は大阪・関西万博開催にあわせ、内容の一部を日英表記にし、市内外で配架を行ったが、特に市外での配架依頼の声が多くあった。また、質の高い芸術鑑賞の機会として、新たに丹後に縁あるクリエイターを紹介する展覧会シリーズ「Tango Creator's Exhibition」を開始し、その第一弾として世界的に活躍した大宮町出身の前衛作家・上前智祐の作品を紹介した。上前の展覧会が故郷でかつ無料で観られるとのことで市外からも多くの来場者が訪れた。</p> <p>丹後のアーティストを講師に迎えた「知るプログラム（体験）」では、3年目の集大成として、市民参加者とともにダンスや陶芸の発表を行い、幅広い世代の参加があった。参加者アンケートでは今年度も100%の満足度を得ており、地域資源を身近に感じたなど、継続を期待する声が聞かれている。</p> <p>■事業費2,219千円（基金充当予定額1,110千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みるプログラム」1,225千円 （報償費（謝金）45千円、需用費130千円、デザイン等委託料1,050千円） ・「知るプログラム」994千円 （報償費（謝金）190千円、需用費370千円、役務費129千円、会場設営等委託料305千円） <p>2丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金</p> <p>障害がある方たちへの市民の理解醸成といきいき暮らせるまちづくりにつなげることを目的に、障害がある方の絵画作品等を市内各所で展示する「TANGOまるっほ美術館」を開催する同実行委員会に対し助成する。</p> <p>■補助金200千円（基金充当予定額200千円） （対象経費内訳：周知チラシ作成85千円、展示備品100千円、郵送費15千円）</p> </div> <div style="width: 48%;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ARTMAP</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>上前智祐展</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「知るプログラム」成果発表</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>2丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会による「TANGOまるっほ美術館」の様子</p> </div> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>1「京丹後アートフェスティバル2025」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携数：35団体、43事業 ・来場者数：14,443人（1/15現在、集計途中） <p>フェスティバルへの連携を希望し、新たにイベントを立ち上げる団体が出てきたことは、市民の能動性を引き出す本プログラムの成果の一端といえよう。</p> <p>2丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金</p> <p>「TANGOまるっほ美術館」会場：大宮ふれあい工房 会期：9/19～10/6 来場者数：200人</p> </div>				

分野	社会教育	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	執行予定額 (基金充当予定額)	2,024千円 (164千円)										
目的	<p>人生100年時代を見据え、市民一人一人が生涯を通じて学ぶことのできる環境の整備、学習の機会を提供し、リスキング（新たな学び直し）の推進に寄与する。</p> <p>京丹後市民大学を通じ、地域理解やコミュニティづくり等、市民の方の自主的な活動につなげるきっかけづくりの場をつくる。</p>														
事業概要・主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ● 講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状理解や、生きがいづくり、健康づくり等につながる内容を開催。 ・オンラインでの参加申し込み、質問の受付を実施。 ・各地域公民館単位で行う参加型、体験型講座を実施。 ● 受講対象者 京丹後市在住の概ね18歳以上の方 ● 令和7年度 合同講座 <ul style="list-style-type: none"> ・有機農業講座（2回） ・スキー体験講座 ・人権講座 各地域公民館講座 峰山8講座、大宮5講座、網野4講座、丹後4講座、弥栄6講座、久美浜4講座 														
	<p style="text-align: center;">有機農業講座</p> <p style="text-align: center;">歩こう会</p> <p style="text-align: center;">絵手紙講座</p>		<p>■ 事業費2,024千円（基金充当予定額164千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金 1,911千円 (合同講座51千円、各地域公民館講座1,860千円) ※参加型、体験型は参加者より参加費を別途徴収予定 ・消耗品費 113千円（広報紙、講座資料等） 	<p>成果・課題</p> <p>1. 合同講座</p> <table border="0"> <tr> <td>4月20日</td> <td>有機農業講座</td> <td>87名</td> </tr> <tr> <td>7月20日</td> <td>有機農業講座第2弾</td> <td>69名</td> </tr> <tr> <td>2月11日</td> <td>スキー体験講座</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>2月14日</td> <td>人権講座</td> <td>●●●名</td> </tr> </table> <p>2. 各地域公民館単位で行う参加型、体験型講座</p> <p>峰山8講座80回、大宮5講座31回、網野4講座47回、丹後4講座19回、弥栄6講座33回、久美浜4講座32回、延べ受講者3,044名</p> <p style="text-align: right;">21</p>	4月20日	有機農業講座	87名	7月20日	有機農業講座第2弾	69名	2月11日	スキー体験講座	21名	2月14日	人権講座
4月20日	有機農業講座	87名													
7月20日	有機農業講座第2弾	69名													
2月11日	スキー体験講座	21名													
2月14日	人権講座	●●●名													

分野	図書館	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	執行予定額 (基金充当予定額)	15,817千円 (7,908千円)
目的	<p>本市行政サービスにおけるマイナンバーカード活用の一つとして、図書館利用者カードとしてマイナンバーカードとの連携に取り組むことで、サービスの利活用を図っていく。住民一人ひとりの人生を豊かにすることにより、地域社会への貢献度を向上させるため、図書館利用者の利便性を向上していく。その一助としてマイナンバーカードを図書館利用者カードとして利用できるようにする。これにより、住民のマイナンバーカードの利用率を向上し、マイナンバーカードをさらに身近に感じてもらえるようにする。</p>				
事業概要・主な経費	<p>マイナンバーカードが必須の社会となる中、マイキーIDと図書館の利用者番号とを紐づけ、マイナンバーカードで資料の貸出、予約を行えるシステムを導入する。また、館内検索端末（館内OPAC）からも、マイナンバーカードでワンタッチで利用者認証し、貸出状況や予約状況、さらに、予約処理を行えるように、住民の利便性と読書環境の向上を図る。</p> <p>【マイナンバーカードの利活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館カードとして利用 ・資料の貸出処理 <p>【マイナンバーカードの利用者認証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内検索端末(館内OPAC)の利用者認証 ・貸出状況や予約状況の確認 ・資料の予約処理 <p>■ 事業費15,817千円（基金充当予定額7,908千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規機器購入費 7,759千円 ・図書システム設定手数料 7,339千円 (端末基本設定作業、図書システムセットアップ) ・端末設置回収、処分手数料 719千円 			 <p>マイキープラットフォーム</p>	
				成果・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機器選定、購入 4月～6月 機器選定を行い、入札 購入 2. システム導入設定 10月～11月 ソフト業者と協議、基本設定及びシステム導入設定 3. 運用テスト 11月 4. 実装、運用 11月～ マイナンバーカードを利用しての図書貸出、予約処理等の実施

分野	スポーツ	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	執行予定額 (基金充当予定額)	3,402千円 (3,402千円)	
目的	スポーツ活動を通じて、本市の青少年の心身の健全育成を推進するとともに、スポーツに親しむ機会の充実に資することを目的に活動をする団体を支援する					
事業概要・主な経費	<p>●活動補助金対象となる団体 京丹後市青少年スポーツ協会 ・加盟教室数57教室 (野球9、バレーボール9、バスケットボール6、サッカー5、空手道6、陸上5、剣道及び柔道5、テニス・バドミントン5、その他7)</p> <p>●青少年スポーツ協会の主な活動</p> <p>1.加盟団体の育成及び支援 ・補助金の交付 ・募集チラシ作成・配布</p> <p>2.加盟団体指導者の研修会等の開催 食育講習会：6月22日開催（講師：阿部 優 氏） テーマ：「スポーツを頑張るお子さんの体を作るごはんについて」 普通救命講習会：6月29日開催（講師：京丹後市消防本部） 内容：心肺蘇生法 等 指導者意見交流会：11月29日開催 テーマ：教室運営に関すること・安全面に関すること パラスポーツ体験会：12月21日開催（後援事業） 内容：車いすバスケットボール 等 指導者講習会：2月末開催予定</p> <p>■事業費3,402千円（基金充当予定額3,402千円） ・団体活動補助金3,141千円 （均等割：45,000円×57教室＋構成団員割：576,000円） ・事務費111千円（消耗品費、振込手数料） ・研修会費150千円</p>				 <p>食育講習会</p>  <p>普通救命講習会</p>  <p>指導者意見交流会</p>	<p>成果・課題</p> <p>・加盟団体の指導者や保護者を対象とした食育講習会や救命講習会の開催支援により、スポーツを通じた青少年の健全育成に寄与した。</p> <p>・加盟団体及び教室生が年々減少している中、今年度より市の広報誌を活用したスポーツ教室紹介を行っているが、今後さらに広報等周知活動を行い、スポーツへの関心を高め、青少年のスポーツに親しむ機会の充実に資するよう努める必要がある。</p>

分野	社会教育	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	執行予定額 (基金充当予定額)	1,137千円 (1,137千円)
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・児童合唱団補助金：市内に在住する児童生徒を対象に活動する合唱団が行う事業を支援し、もって青少年の健全育成と豊かな情操を育む。 ・青少年健全育成活動費補助金：青少年健全育成会の自主的な活動を支援し、もって社会教育の振興、発展を図る。 ・子ども教室活動補助金：心豊かでたくましい子どもを社会全体で育む。 				
事業概要・主な経費	<p>●団体の主な活動</p> <p>1.児童合唱団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回の練習、各イベントへの参加等 (大宮児童合唱団、網野グリーンクワイア、久美浜児童合唱団) <p>2.青少年健全育成会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動（令和7年度実績：カヌー体験教室、漁業体験・食育体験等） ・あいさつ運動（令和7年度実績：市内全中学校・高等学校で実施 参加人数合計 434人） ・夏の安全パトロール（令和7年度実績：間人みなと祭り・昆沙門祭・千日会観光祭で実施 71人（参加人数）） ・青少年健全育成・家庭教育講演会（令和7年度実績：京丹後教育フォーラム（共催）約●●●人（参加者数）） <p>3.地域子ども教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動等の事業を行う。 ・京丹後市内の小中学校区単位で、地域の中に子どもたちの安心・安全な居場所を設け、放課後、休日等に年間を通して活動 (活動教室数：峰山町域1、大宮町域1、久美浜町域3) <p>■事業費1,137千円（基金充当予定額1,137千円）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.児童合唱団活動補助金 237千円（補助対象事業費×1/2（上限20万円）） 2.青少年健全育成活動補助金 400千円 3.地域子ども教室活動補助金 500千円（1団体100千円×5団体） 		 <p>カヌー体験教室</p>  <p>あいさつ運動</p>  <p>青少年健全育成・家庭教育講演会</p>  <p>地域子ども教室</p>		<p>成果・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童合唱団の活動補助金について、3合唱団に対して交付した ・青少年健全育成会の各種体験活動、あいさつ運動、夏の安全パトロール、講演会に対して補助金を交付した。 ・地域子ども教室の活動補助金について、5教室に対して交付した。